

平成筑豊鉄道における運賃改定について

平成筑豊鉄道株式会社では、門司港レトロ観光線における旅客運賃を下記のとおり変更する予定ですので、お知らせします。

今後、国土交通省九州運輸局に鉄道事業の旅客運賃上限変更に関する認可申請を行う予定です。

1. 改定後の駅間旅客運賃(予定)

大人片道500円(改定前300円) ※ 運賃は均一制

2. 申請理由

門司港レトロ観光線の運行は、平成筑豊鉄道の厳しい経営状況を打開するための新規事業の一つとして2009年4月に開始し、運行開始以来、運賃を変更することなく、安全・安心な輸送体制の維持を最優先としつつ、様々な経営努力を続けながら、輸送サービスを提供してまいりました。

当社としましては、これまで、冬期の運行開始(2022年度から開始。前年度までは12月から2月までは運行していなかった)、夜間運行の実施(4月から11月の間に実施)、夏休み期間(8月の1週間)の平日運行、バックヤードツアー開催(車掌業務体験や車庫内の見学)、インバウンド向け「関門海峡クローバー切符(韓国語版、英語版、台湾版、中国版)」の発売など数々の取組を実施し、利用客数の増加を図ってまいりましたが、開業年度の2009年度は21万人であった利用客数は、2024年度には11万人とピーク時の約半分にまで落ち込んでいます。また、観光路線であるため、利用客数は外国人旅行客の動向や天候といった外的要因に大きく左右され、収益が安定しない面もあります。加えて、最低賃金の上昇や設備の老朽化進行により修繕対応が増えたことによる人件費の増加、燃料価格上昇、運行における安全確保・サービス向上のための外注費の上昇などにより維持管理費が増えており、今後も極めて厳しい経営状況が続くことが見込まれます。

施設の老朽化対策や社員の賃金水準の維持による働き手の確保など鉄道事業運営に必要な対応を行うことにより、輸送の安全確保及び旅客サービスの維持・向上を今後も継続するには運賃改定による収支の改善が不可欠と判断し、今般の改定を行うものです。

3. 実施時期(予定)

2025年10月